

授業科目 生命倫理

【担当教員名】 櫻井浩治、宮坂道夫	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<一般目標：G I O>

医療技術の発達に伴い、全ての生き物の生命と人権の在り方の見直しが重要視されてきている。こうした医療によって生じる様々な生命と人権に関する問題点を、歴史と現在の事例を通して共に考えていく。

<行動目標：S B O>

1. 歴史的回顧により、命と人権への侵害とその重さを学ぶ。
2. 現代の医療の中で生じている医療倫理問題を知り、生命倫理の概要を学ぶ。
3. 医療倫理、生命倫理について考える習慣を会得する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	1. 何故今生命倫理が注目されているか	1. 2	講義
2	2. 精神医療と生命	1. 2	講義
3	3. 話題の近代医療と生命倫理（事例を考える）	2. 3	講義・討議
4	↓		
5			
6			
7	4. 総括	1. 2 3	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	医療倫理Ⅰ・Ⅱ	グレイ・E. アック（宮坂道夫他訳）	みすず書房	2000年刊
その他の資料	プリント			

【評価方法】 主としてテストにより評価	【履修上の留意点】 私語を慎むこと。
------------------------	-----------------------